

映像制作実習

『ふたたま』『もぐら』
『湛えて』『めぐみ』
4作品上映＋トークショー

Video Production Film Screening

☆ 入場無料・途中入退場可

1.22(火)
16:30開演

主催ー早稲田大学 GBC・基幹理工学部
場所ー早稲田大学 大隈記念講堂

作品上映会

1.22 TUE

Time Table

-16:00 開場 / 16:30 開演・挨拶

-17:05 『ふたたま』『もぐら』上映

『ふたたま』

「あ、でも今日の夕飯なら当てられる。ニラふたたま！」
早乙女たま (24) は、大学時代の同級生である吉村映紀 (24) と都内でルームシェアをしている。気忙しい時代の中にあっても、二人は他愛のない会話を交わしてはいつも変わらない毎日を送っている。ゆっくりと流れる日常と、ペラペラに生い茂るニラ。たま達のおしゃべりは今日も続く。

監督：岡本巳季 助監督：岡田奈津美 | 岡岡夏生
撮影：杉浦亜門 照明：齊藤祐司 | 岩壁隆 録音：山田泰生
録音応援：山下涼 美術：杉浦亜門 | 田家尚香
制作：近藤邦治 制作応援：植本美菜子 | 高野一興
相原悠太 スチール：山田涼香
ロケーション協力：杉浦家



『もぐら』

川崎のデリヘルで働いているあおいは「ハル」という名前で客に体を売る毎日。ある日、風俗嬢のあおいは新人ドライバーのけたと出会う。母親が蒸発し、風俗で働きながらひとりで生きているあおひ。夜の工場をひとり見つめるけた。ふたりは幼い頃に両親の離婚によって離れ離れになった家族だった。あおひを運ぶけたの車が夜の川崎を走っていく。孤独を抱えたふたりのやさしい夜のドライブがはじまる。

出演：加藤才紀子 | 見津賢 | 川久保晴 | 今野誠二郎
長瀬ねんじ | ほか 監督・脚本・編集：山浦未陽
助監督：樋浦悠真 | 鶴田見大 | 芝崎大道 撮影：浦井康平
湯谷隆央 録音：梶田大輔 照明：宮下武也
衣装・美術・広報：高橋ミチル | 濱崎菜衣 制作：上田健太郎
趙宏毅 | 川久保晴 | 濱崎菜衣 | 篠宮凛 | 脇島勇正
ロケーション協力：一般社団法人 ホワイトハウス



-18:05 監督・キャスト × 講師陣 トーク (是枝・篠崎・土田)

-18:35 休憩

-18:50 『湛えて』『めぐみ』上映

『湛えて』

郊外の空き家へと越してきたひとりの女性。永い孤独のなかで、彼女は空き家とゆっくりと重なっていく。家が結びつける人びとの印痕。家にのこされた前の住人の写真。空き家の見えない「記憶」に触れ、彼女は閉ざされた過去を見つめ返す。

出演：兎丸愛美 | 山口友和 | ふじわりまほ | ほか
監督・脚本・編集：早坂亮子 助監督：高野一興 | 土井一輝
撮影：コウイク | 上岡博雄 | 狩野莉子 録音：土井一輝
整音：佐藤恵太 照明：花村優香 | 笹田智裕
照明補助：伊藤雅樹 美術：和田嶋季 コウイク
衣装：和田嶋季 | 村上愛梨 | 上岡博雄 制作部：村上愛梨
制作協力：平田桂樹 | 川口ゆずか スチール：コウイク | 上岡博雄
狩野莉子 | 伊藤雅樹 スクリプト・広報：佐藤果南子
製作総指揮：佐藤恵太 製作補助：佐藤果南子 | 荒木裕子
ロケーション協力：和田家 | 横江家



『めぐみ』

絵画教室に通う高校生・めぐみは、母・清子と義父・昇との3人暮らし。実父・卓哉との久しぶりの再会で、めぐみは血の繋がりをふと意識し始める。17歳という多感な時期、世の中のことも自分のことも分からないことだらけだ。自分の世界と周囲の環境とのせめぎ合いの中で、めぐみの抱える漠然とした痛み、焦燥は緩やかに加速していく…彼女の居場所は一体どこに行き着くのだろうか？

出演：村田奈津樹 | 宇田川さや香 | ますいたかみち
美馬一英 | 稲葉悠介 | 白鳥悠香 | ほか
監督・脚本・編集：道岡円香 助監督：田中玲透 | 藁谷周太郎
撮影：夏井俊吾 | 出野龍郎 録音：松本拓也 | 古家未葵
照明：目山喜樹 衣装・美術：古家未葵 制作：八杉美月
製作指揮：大澤美久 ロケーション協力：アートエ中野
多摩美術大学美術館 | 一般財団法人 福沢一郎記念美術財団



-19:40 監督・キャスト × 講師陣 トーク (是枝・篠崎・土田)

-20:10 終演 (予定)

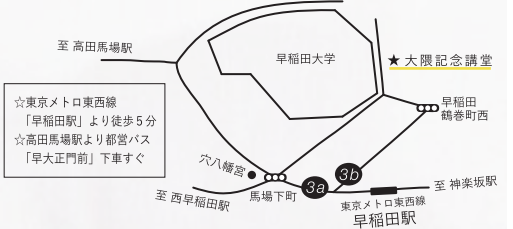
「映像制作実習」は、2015年度から早稲田大学グローバル・エデュケーションセンター/基幹理工学部表現工学科に設置された実習形式の授業です。この授業は、是枝裕和・篠崎誠・高木創・土田環ら映画人が担当教員となり、映像制作に意欲的な学生が学部の垣根を越えて参加しています。各先生方のもと、企画立案から脚本執筆、撮影、演出、編集そして宣伝、上映会まで学生の手で行います。今年度制作した4作品を、ぜひご笑覧ください。

Comments

今回は半年近く日本を離れてしまったので、学生の皆さんと講師陣とのバトルを、撮影現場での模索を、完成までの七転八倒を、遠くから見守る形の参加の予定でした。しかし、12月18日現在、まだまだこれからヤマ場を迎えるチームもあり、彼らの軌跡に少しは立ち会えるかな、と楽しみにしています。
是枝裕和 早稲田大学教員・映画監督
映画づくりは「自己表現」などではありえませんが、監督本人が自覚している程度のことだわいなや「個性」など大したものではないのです。生まれも育ちも違う他者たちと一緒に、カメラとマイクの前後で悪戦苦闘すること。その時の逡巡、悩みな喜びが、スクリーンにどう見えますか。その時の逡巡、悩みな喜びが、スクリーンにどう見えますか。その格闘の記録を今から篠崎誠 映画監督

ひよんなこと早稲田大学映像制作実習の授業に参加しました。2つ印象的だったのは授業という形で一年かけて Yayoi 言葉、ちよつと混雑しているんじゃないか？ と言ったこと。
井口奈己 映画監督
脚本を執筆する際の葛藤、自己批判、カメラを構えた時の戸惑い、震え、共に仕事する他者との衝突、対話。かつて土本典昭が指摘したように、「映画は生き物の仕事である」ことを思考として運動したの美しさや融が、共同作業の意味をもういちど捉え直すとする行為
土田環 早稲田大学教員・映画祭プログラムコーディネーター

Access



協賛: テレコムスタッフ AOI Pro. BANDAI NAMCO FILM TSUTAYA CREATORS' PROGRAM 株式会社スマイルズ (株式会社分福)